

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## リゾートトラスト株式会社（証券コード:4681）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

BBB+  
安定的

### ■格付事由

- (1) 会員制リゾートホテル運営の最大手。独自のシステムと営業力、開発力、運営力で顧客満足度を高め、会員数を着実に積み上げている。18万人を超える会員からの豊富な情報量が強みである。近年は会員制人間ドックやシニアレジデンスを運営するメディカル事業を強化している。21年6月には「サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート」（以下、高山）の会員権販売を開始した。
- (2) コロナ禍においても業績は一定の底堅さを維持している。豊富な会員情報を基盤とした当社の営業力により、ホテル会員権やメディカル会員権の販売が引き続き好調に推移していることが背景にある。一方、ホテルレストラン等事業については一般ホテルを中心に厳しい業況が続いており、引き続き業績の回復動向を注視していく必要がある。財務構成は足元で悪化しているものの、中期的には利益の資本蓄積などを背景に緩やかに改善していくとみている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 22/3期の営業利益は70億円（前期比52.4%減）の計画。前期に計上した横浜ベイコート開業に係る繰延収益の剥落が主な減益要因であり、繰延影響を除いたベースでは増益を確保する見通しである。高山の販売も好調な出だしとなっている。また、21/3期に赤字となったホテルレストラン等事業については、22/3期に黒字化を計画している。コロナ禍による厳しい事業環境下での収支改善の進捗に注目していく。
- (4) 22/3期第1四半期末の自己資本比率は24.6%（前年同期末は28.8%）と低下している。主な要因は①減損損失の計上などにより21/3期に最終赤字を計上したこと、②収益認識に関する会計基準の適用に伴い利益剰余金から前受金への振替が生じたこと一による自己資本の減少である。②については将来計上する利益への振替であり、特段問題視すべきものではないとJCRは考えている。また、高山に続き関西や関東で新規物件開発に向けた検討が進められているが、新規開業はおおむね1年に1物件程度のペースに留まる見通しであり、さらなる財務悪化が生じる懸念は小さい。

（担当）井上 肇・坪井 悠祐

### ■格付対象

発行体：リゾートトラスト株式会社

### 【据置】

| 対象      | 格付   | 見通し |
|---------|------|-----|
| 長期発行体格付 | BBB+ | 安定的 |

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年8月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) リゾートトラスト株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル